

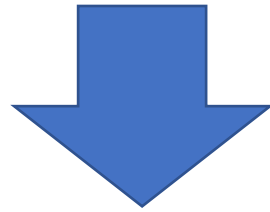
第34回 洛和会ヘルスケア学会
2024年10月20日(日) 口演TQM発表

看護学科教員 業務内容の一部見直し

洛和会京都看護学校TQM委員会
前田奈穂

問題点・背景

教員の業務は多岐にわたる
(講義・実習・学生指導・課外授業など)



教務事務と連携や協働はどうなっているのか？
ローカルルールが生まれているのではないかな？

目的・目標

目的

専任教員、実習指導教員（以下、教員）業務の現状を把握し、継続的な業務改善を行う。

目標

業務調査票を用いて、業務の現状を把握し、さらなる改善点を見出すことで、教員の教育活動の充実を行う。

方法

- ・ 業務の現状を把握する業務調査票を作成した。
- ・ 業務調査票を元に、令和6年9月18日～21日の間に、各学年教員計14名に、現在行っている業務内容を自由記載、ヒアリングを行った。
- ・ 文部科学省・平成31年中央教育審議会答申より「学校・教師が担う業務にかかる3分類」を参考とし、分類とカテゴリー分けを行った。

結果

必ずしも教員が担わなくてもいい業務	教員が担うべき業務であるが負担軽減可能な業務	教員が担うべき業務
・ 図書管理 ・ 試験監督 ・ 出欠確認 ・ 業者模試の申し込み ・ 他校への進路ガイダンス ・ 国試願書の記載指導 ・ 実習評価や成績のデータ作成と分析 ・ 再試験の日程の貼り出し ・ 外部講師と学生のメールチェック ・ 認定試験印刷 ・ 課外授業の運営 ・ 学生購入物品の集金・発注・配布 ・ 時間割配信 ・ 予防接種 ・ 掃除のチェック ・ 出停時の必要書類 ・ ICカード忘れや紛失の取り扱い	・ 出席管理 ・ 課外授業の学生・教員の調整（オープンキャンパス・入学式・卒業式・水脈祭等） ・ 講師へ講義に必要な物品の確認 ・ 提出物チェックと返却 ・ 予防接種の予診票の書き方指導、チェック ・ 成績管理 ・ 認定試験印刷 ・ データ作成	・ 学生への教育・指導 ・ 学生面談 ・ 成績管理 ・ 保護者対応 ・ 再試験学生の管理 ・ 認定試験の返却 ・ 実習指導 ・ 課題の計画立案 ・ 認定試験運用

結果

- ・「①必ずしも教員が担わなくてもいい業務」「②教員が担うべき業務であるが負担軽減可能な業務」「③教員が担うべき業務」の中で、「①必ずしも教員が担わなくてもいい業務」の業務内容が一番多いことが分かった。
- ・「出席管理」「成績管理」「認定試験印刷」の項目では、教員間で認識の差があることが分かった。

考察

- 同じ業務内容であっても、教員の認識の差があり、ローカルルールが発生している。教員に求められる業務は多岐に渡るが、学生個々のレディネスに応じた丁寧な関わりがしたいため、仕事を円滑に効率よく行いたいという思いがあることも要因の一つであると考ええる。
- そのため、教員の業務のさらなる見直しや教員間の認識の差を統一する機会を設ける必要があると考ええる。

今後の取り組み

- 冬季ミーティング、年度末ミーティングで、業務手順の見直しや教員の役割についてディスカッションする機会を設ける。
- 業務手順に定められたルールを守っていく風土をつくる。
- 教員それぞれが、教員が行うべき業務について意識しながら業務を遂行する。

ご清聴ありがとうございました。